

2008年11月1日(土)～11月30日(日)

## 寄贈品コーナー「万田貝塚展Ⅱ」

期間：11月1日～11月30日まで

万田貝塚は大正14年(1925)に一部調査され、砂礫層上位の土器群と下位にある貝層中の土器群とは形態的な差異があると指摘されました。平成17・18年の調査成果により、その具体的な内容が明らかにされました。

今回は砂礫層上位の土器群(中期・後期)や石器等を展示しました。万田貝塚に近接した万田熊ノ台遺跡(中・後期の遺跡)でも同時期の土器が出土していることから、この二つの遺跡は互いに密接な繋がりがあったと考えます。残念ながら、二つの遺跡では住居跡等は確認されていませんが、周辺に存在するものと考えています。

今回の展示で、海辺に面した万田貝塚の暮らしぶりの一端を紹介することによって、縄文の社会と現在の社会とがどのように繋がり、どのように変化してきたかを考え、今日の社会状況を見直すきっかけになれば幸いです。



平成17・18年度に調査された万田貝塚遺跡